

# 静かな空

連絡先 742-2602 山口県大島郡周防大島町油宇 福田忠邦 Tel+ Fax: 0820-75-1045

戸村良人 カメラの眼

## 6月29日 梅雨の晴れ間に米軍機を追う

10時04分

全日空旅客機定期便 (写真省略)

10時11分



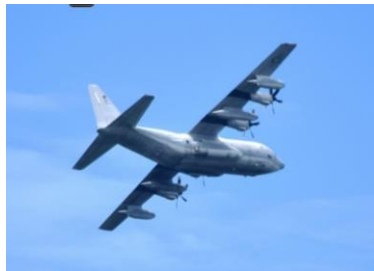
海上自衛隊 US-1A 救難飛行艇 (岩国基地)

12時07分



航空自衛隊 T-4 練習機 (築城基地)

13時16分



米海兵隊 KC-130J 空中給油機スーパーハーキュリーズ (岩国基地) 7026 番機 (機体番号が読み取れた)

13時29分

米海兵隊 KC130J 2周目 降りずに旋回します。

2回目。



13時35分



頭の真上に航空自衛隊U-4 多用途支援機  
(入間基地)

13時37分

海兵隊 KC-130J 空中給油機スーパーハーキュリーズ (岩国基地) 7926 番機 2周目



13時39分



米海兵隊 KC-130J 空中給油機  
スーパーハーキュリーズ (岩国基地) 7926 番機  
由宇上空から、岩国基地に降りていきます。

13時54分

米海兵隊  
KC-130J  
7926 番機 3周目



14時41分 全日空旅客機定期便 (写真省略)

14時57分



海上自衛隊 59E 掃海輸送機シードラゴン  
(岩国基地)

15時04分 民間航空ヘリコプター (写真省略)

15時49分



米海兵隊 KC130J 空中給油機スーパーハーキュリーズ (岩国基地) が飛んできました。機体番号が読めます 7981 1周目



15時51分 同機 2周目

15時56分



米海兵隊スーパーハーキュリーズ 2周目  
由宇上空 右の山が銭壺山

16時07分



米海兵隊スーパーハーキュリーズは東（四国方面）に飛んでいきます。ちょっと右よりの機。展望台の高性能双眼鏡ではよく見えるのですが、カメラではこれが精一杯。PM2.5の濃度が低く見通しのよい日にはなんとか見える写真がとれるのですが、このところそういう日がありません。



16時10-11分



米海兵隊空中給油機 KC-130J 7981 番機  
3周目

文珠山頂上のすぐそば。文珠山上空から風車のまわる平生上空へ。平生から上関へ。上関から祝島上空を、またむきをかえる。3周目はグルグル回ります。4周目というべきか。

16時14-15分

米海兵隊 KC-130J 7981  
由宇上空銭壺山上空へ。岩国滑走路近くまでおりていくと、再び東方向へ上昇。



16時30分



北東の空から米海兵隊 KC-130J。7981 番機消えたと思ったらまた文珠山上空に近づいてきました。頭のすぐ上に。



16時44分



文珠山のすぐそばを飛びます。横から写真を撮るのにベストの位置を飛びます。7981 がよく読めます。(標高 662 メートルの山頂にいるカメラマンの目線より低いかもしれません) これは柳井から大島上空へ、通津から基地へ着陸するのが双眼鏡で見えました。カメラ撮影は無理。

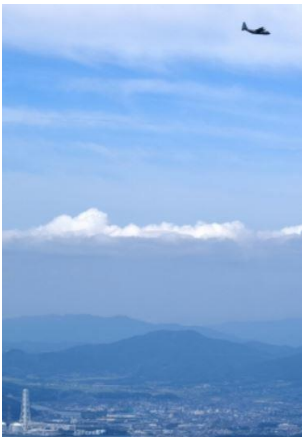
16時59分 民間航空定期便 (写真省略)

## 8月18日 お盆あけの炎暑の中で、米軍機監視

9時47分 米海兵隊 UC-12W ヒューロン輸送機 (岩国基地) が頭の上に



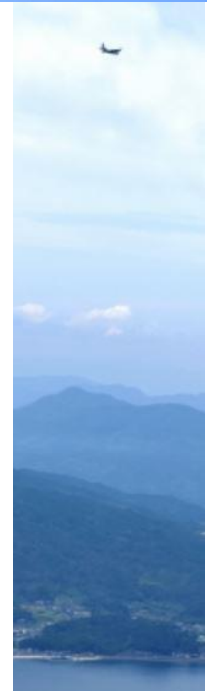
11時26分 柳井上空の米海兵隊 KC-130J 空中給油機 スーパーハーキュリーズ (岩国基地) 1番目の機



11時29分



米海兵隊 KC-130J 空中給油機スーパーハーキュリーズ (岩国基地)、2番目の機は上関と周防大島、大島の上を飛ぶ



12時23分 米海兵隊 EA-6B プラウアー電子戦機  
(岩国基地)、1機目は平生から柳井上空に



14時33分

この日2番目の米海兵隊 EA-6B プラウアー 電子戦機 (岩国基地) が文珠山頂上展望台 (標高 662.7m) のすぐ上に飛んできました。非常に近いのですが、真下のため機体番号などは読み取れません。監視カメラ、ターゲティング・ポッドをつけているのが見えます。

14時45分  
米海兵隊 EA-6B プラウアー電子戦機(岩国基地)3番目の機も文珠山の東で旋回



14時56分 自衛隊機?気が付くのがおそかった。

15時25分 平生上空の米海兵隊 EA-6B プラウアー電子戦機 (岩国基地) 4番目の機が柳井上空に



15時34分

陸上自衛隊 OP-3C 画像データ収集機 (岩国基地)

15時43分 陸上自衛隊  
EP-3 電子戦データ収集機 (岩国基地)



「行動の写真集」から <http://tomura.lolipop.jp/>

# 沖縄県知事 辺野古承認を取り消しへ

## 辺野古工事の停止 普天間の閉鎖返還を！

安倍政府と翁長沖縄県知事が1カ月をこえる協議をしながら、政府は沖縄県民の強い意志に理解を示さず、協議は物別れに終わりました。ついに辺野古承認の取り消しを決意された翁長県知事と、沖縄県民の力強い支援に心からの敬意を表し、声援を送ります。政府に辺野古基地計画を撤回し、普天間基地を閉鎖、返還させるために、全国の米軍基地の周辺住民が連帯して、さらに運動を推進しましょう。

大島の静かな空を守る会

## 信頼できない政府をもつ国民の不幸

周防大島町下田 藤村英子

作家の澤地久枝さんが「日本の政治をみていると油断がならない。いつの間にか国民を騙すのだから」と言っておられたが、今私も痛切にそれを感じる。特に現政権を握っている安倍さんは、平気で嘘をつき、真逆のことを平然と言うからこわい。

今、問題の安保法案、これは集団的自衛権に道を開く戦争法案であるが故に、全国で燎原の火の如く反対の声が広がっている。31日の地方紙にも、12万人が国会周辺を埋め尽くし、全国各地で集会やデモをした様子が載っていた。

この法案は、日本が米国と一緒にあって、殺し殺される戦争に参加することになる、憲法違反の法律なのに、安倍さんは、日本人の命と暮らしを守る為だと言う。

今、「岩国の愛宕山に米軍住宅はいらない」と、月に3回、1のつく日に座り込みを続けている。8月21日は、ちょうど5周年目、150回を数え、参加数は2000人を越えたという。

もともと、愛宕山の土は、基地の騒音を無くする為、沖合移設の埋め立てに使うものだった。ところが沖合へ移設しても、跡地を返さないのだから、事実上、1.4倍の大拡張だった。また愛宕山には文化住宅を作るというふれこみだったのに、米軍住宅が出来るとは、こんなことなら誰一人、地権者は土地を売らなかつたらう。現に地権者が裁判にまで訴えているのをみても分る。

今、沖縄では普天間基地を辺野古へ移すことでもめている。1995年、少女暴行事件のあと、普天間基地を撤去せよと、県民が立ち上がった。その時、橋本首相が言ったのは「今後5年ないし10年の間に、普天間は撤去します」と。それを聞いて



て、ああ良かったと私は思った。そのかげでもっと強大な基地を、同じ沖縄の辺野古に作ろうとしていること等、誰に予想できただろう。

過去に目を移せば、「非核三原則」も嘘だった。

沖縄復帰の時の「核抜き本土並み」も嘘だった。

「消費税」も、「導入はしない」、「この顔が嘘つく顔に見えますか」と言いながら、当時の首相は名前を変えて「消費税」を導入した。

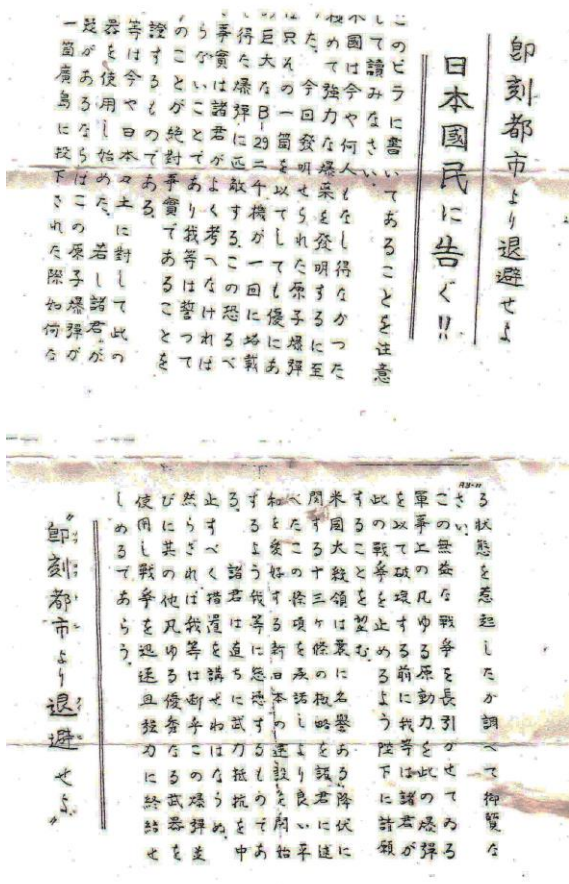
企業献金をなくすためと言って政党助成金を受けたのに、いまだに献金に頼っている。

福島原発事故は完全にコントロールしていると嘘をついて、オリンピックを招致した。

平和憲法が出来た時、日本は未来永劫に武器を捨てたと、世界に公言したのに、今や軍事大国。

考えてみれば、まだまだ沢山出てきそう。

いずれにしても、信頼できない政府を持つ国民は不幸だ。残り少ない人生を、私は安倍政権打倒のため、頑張ろうと思う。 (ふじむら ひでこ)



## 原爆投下の予告ビラ

このビラは、昭和20年8月、広島に原爆が投下されたあと、米軍飛行機が東京都内にばらまいたビラだと思われます。

このとき日本政府が戦争終結を決断していたら、長崎に原爆が投下されることはなかった筈。戦争は、人間から、あたりまえに考える能力を奪い、人々は平常の時ならすぐわかることが、まったく理解できなくなります。

長崎の原爆投下で15万人の死傷者を出したのは、当時の権力者や多くの国民が正常な状況判断力を失っていたことの結果ともいえるでしょう。 (河井)

(写真提供者 元法政大学教授 小川徹氏)

## 即刻都市より退避せよ 日本国民に告ぐ！

このビラに書いてあることを注意して読みなさい。

米國は今や何人もなし得なかつた極めて強力な爆薬を發明するに至つた。今回發明せられた原子爆弾●只その一箇を以てしても優にあ●巨大なB-29 二千機が一回に搭載●得た爆弾に匹敵するこの恐るべ●事實は諸君がよく考へなければ●らないことであり我等は誓つて●のことが絶対事實であることを●證するものである。

●等は今や日本々土に對して此の●器を使用し始めた。若し諸君が●疑があるならばこの原子爆弾●一箇廣島に投下された際如何なる状態を惹起したかを調べて御覽なさい。

この無益な戦争を長引かせてゐる軍事上の凡ゆる原動力を此の爆弾を以て破壊する前に我等は諸君が此の戦争を止めるよう陛下に請願することを望む。米國大統領は曩に名譽ある降伏に関する十三ヶ條の概略を諸君に述べたこの条項を承諾しより良い平和を愛好する新日本の建設を開始するよう我等に懇願するものである。諸君は直ちに武力抵抗を中止すべく措置を講ぜねばならぬ。然らざれば我等は断乎この爆弾並びに其の他凡ゆる優秀なる武器を使用し戦争を迅速かつ強力に終結せしめるであらう。

ソッコクトシ タイヒ  
“即刻都市より退避せよ”

## 日本国民は「戦争の放棄」を約束した

「私たち日本国民はもう二度とふたたび戦争をしないと誓った。(憲法第九条)

これは新憲法の最も大きな特色であつて、これほどはっきり平和主義を明らかにした憲法は世界にもその例がない。

私たちは戦争のない、ほんとうに平和な世界をつくりたい。このために私たちは陸軍海軍などの軍備をふりすて、全くはだか身となつて平和を守ることを世界に向かつて約束したのである。わが国の歴史をふりかえてみると、いままでの日本は武力によって國家の運命をのぼさうという誤つた道にふみ迷つていた。殊に近年は政治の実権を握つていた者たちが、この目的を達するために國民生活を犠牲にして軍備を大きくし、ついに太平洋戦争のような無謀な戦いをいどんだ。その結果は世界の平和と文化を破壊するのみであつた。しかし太平洋戦争の敗戦は私たちを正しい道へ案内してくれる機会となつたのである。・・・」

『新しい憲法 明るい生活』憲法普及会編・発行 1947.5.3 p.4-5 この本は、新憲法施行の日  
に全国配布され、周防大島町日前貞広部落では住民が回し読みして、今も文書箱に保管している)

\*\*\*\*\*

**協力金ありがとうございました** 2012年4月から2015年7月末までに会費、または協力金を頂いた方々の人数と合計金額をご報告いたします。個別にお礼状をお送りすることはせず、『静かな空』送付によってかえています。ご了承ください。

2012.4.—2013.3.	38名 (二度納入した人あり)	合計	48,080円
2013.4.—2014.3.	8名	合計	8,000円
2014.4.—2015.3.	21名 (二度納入した人あり)	合計	40,000円
2015.4.—2015.7.	6名	合計	18,000円

大島の静かな空を守る会協力金 (自由意志) 郵便振替口座 記号番号 01380-1-88949 口座名称 カワイヒロシ